

The 4th UTOPIA for CVD Case studies

Case 1

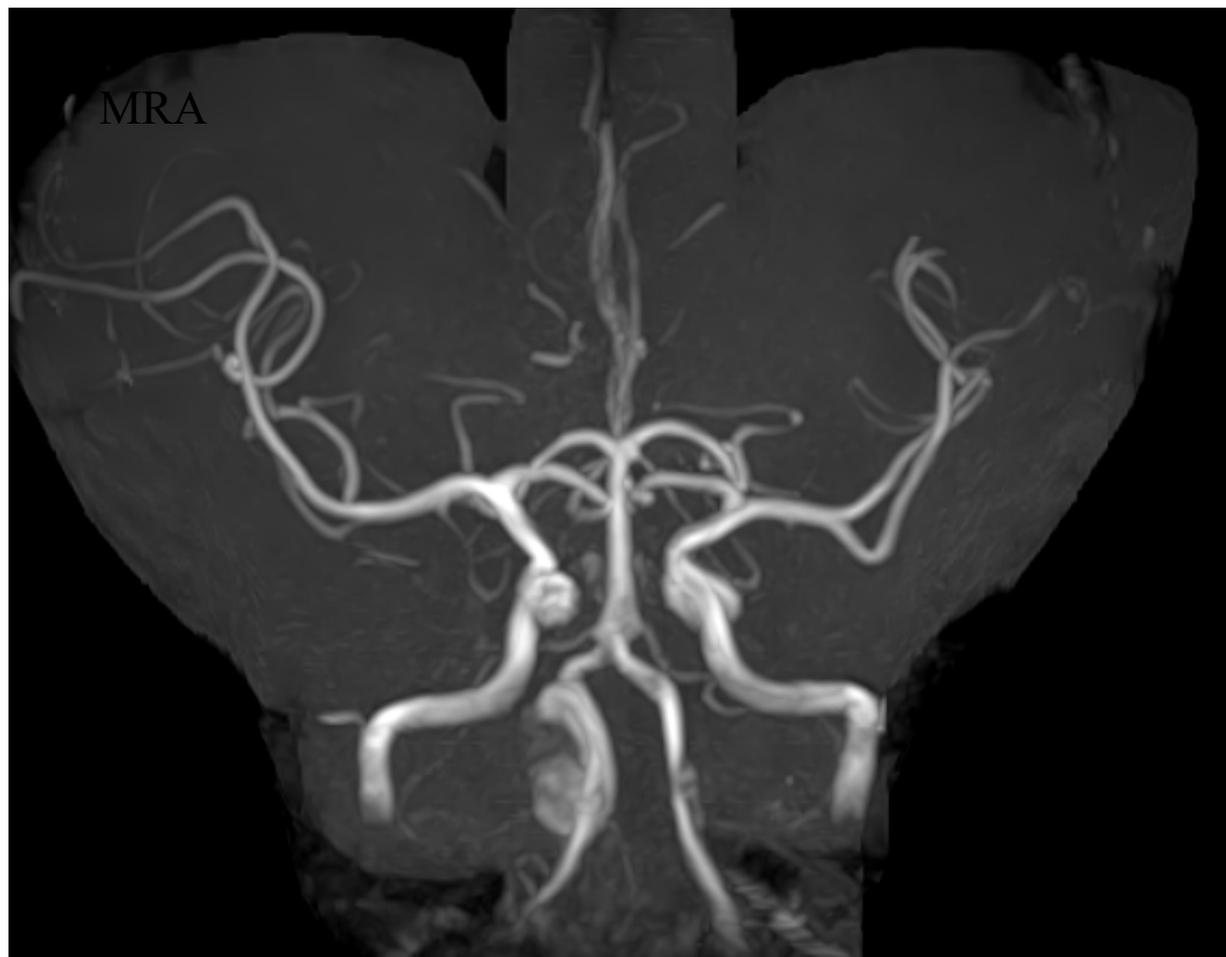
42 M

Rt. VA partially thrombosed, giant AN

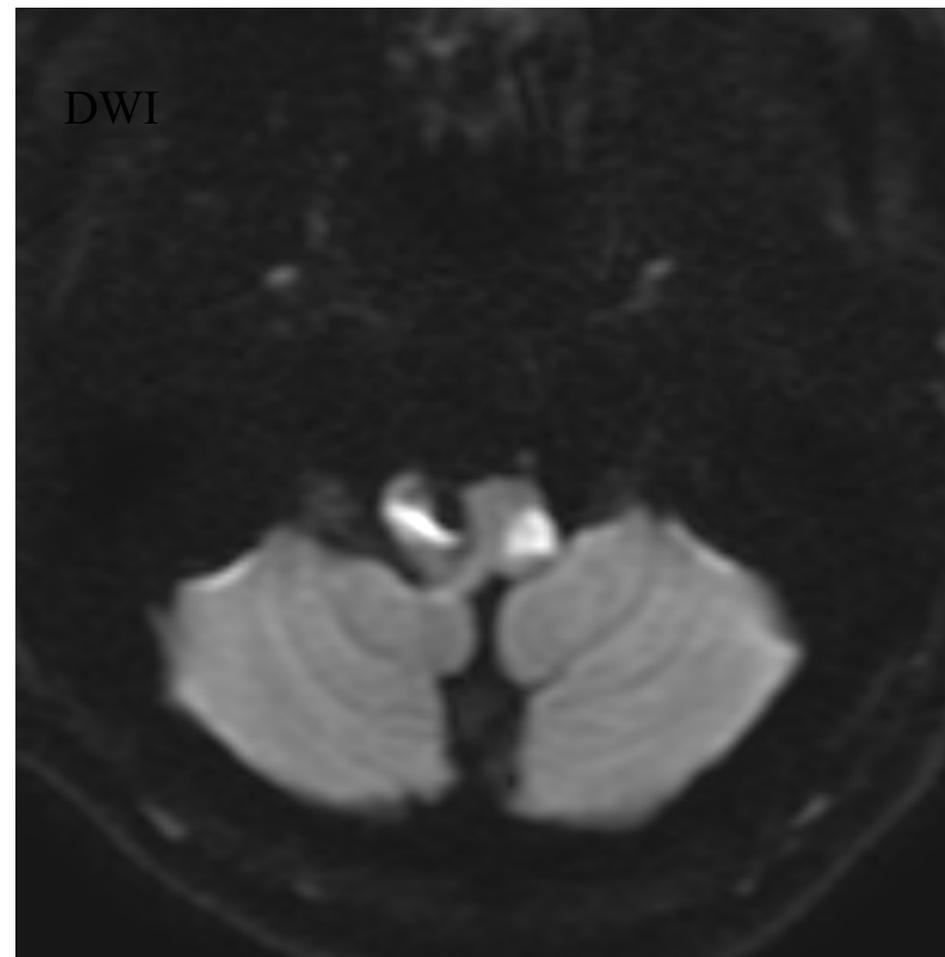
Case 1

現病歴	X-4年に頸部の整体整復を受けた翌日にふらつき、嚥下障害、嘔声が出現 両側椎骨動脈解離、左延髄外側梗塞と診断を受けた。 脳梗塞の症状は改善したが、右椎骨動脈解離性動脈瘤(VADA)が増大し、血栓化を伴っていた。 X-3年に当院に紹介、最初は経過観察としたが、右 VADAの経時的増大を認めている。
既往歴	高血圧症
内服薬	オルメサルタン20mg/日、アムロジピン2.5mg/日
生活歴	past smoker、機会飲酒
現症	左顔面、右上下肢の温痛覚低下

X-4年 左延髓外側梗塞発症時

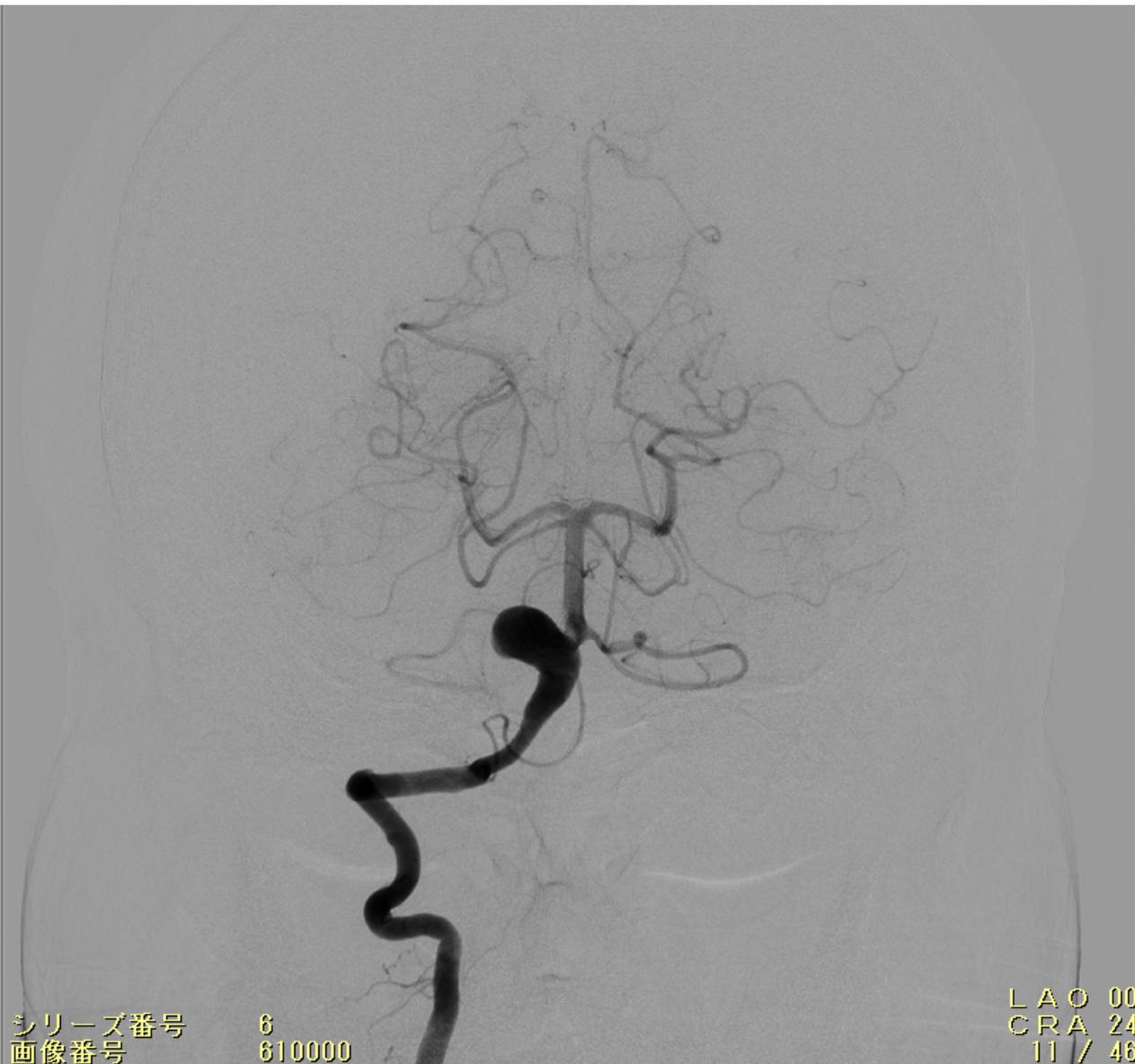


右VADA、左VA解離



左延髓外側梗塞(+)

X-3年、右VAG

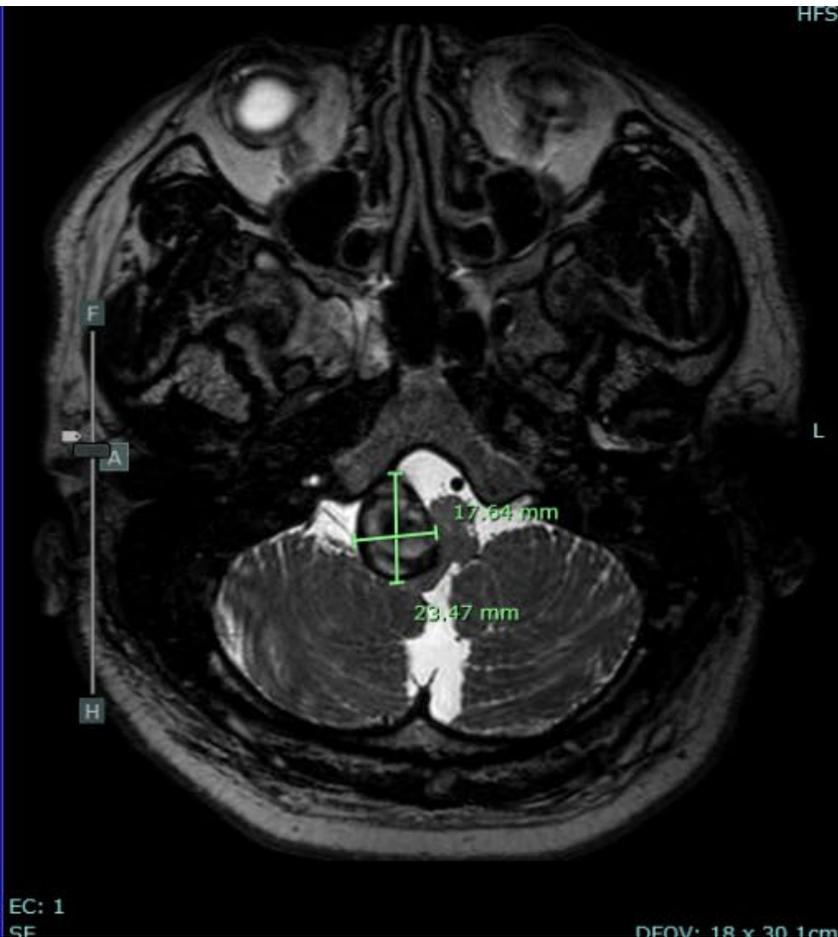


X-3年、左VAG (3D-RA)

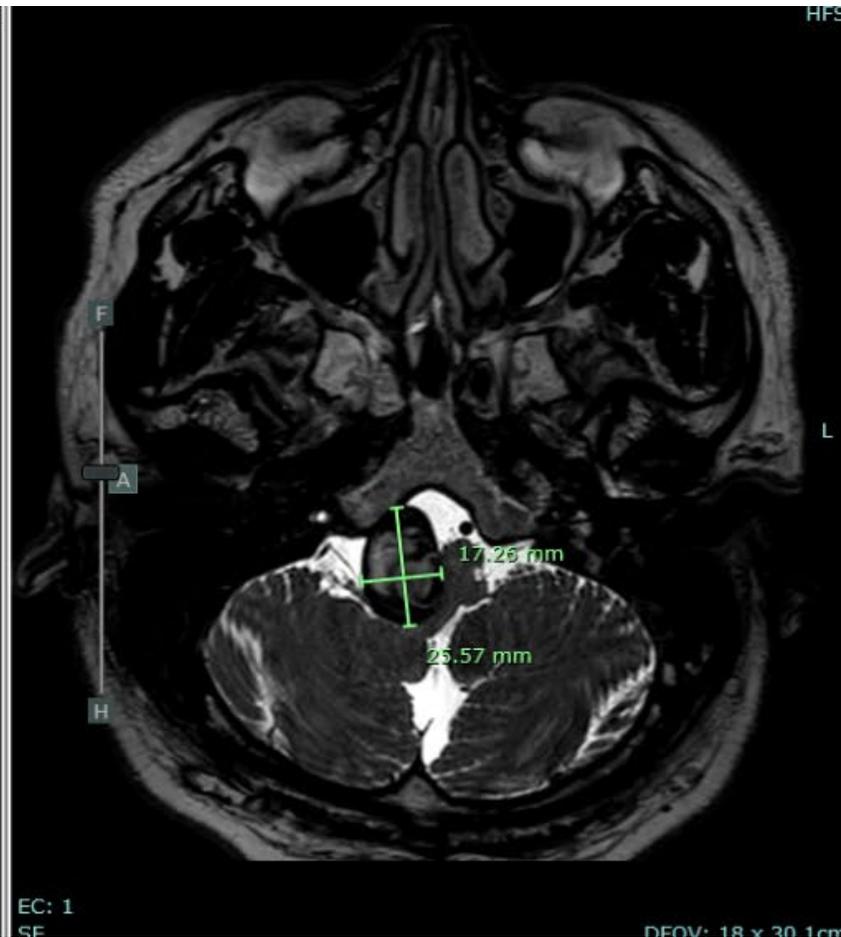


T2 VISTA

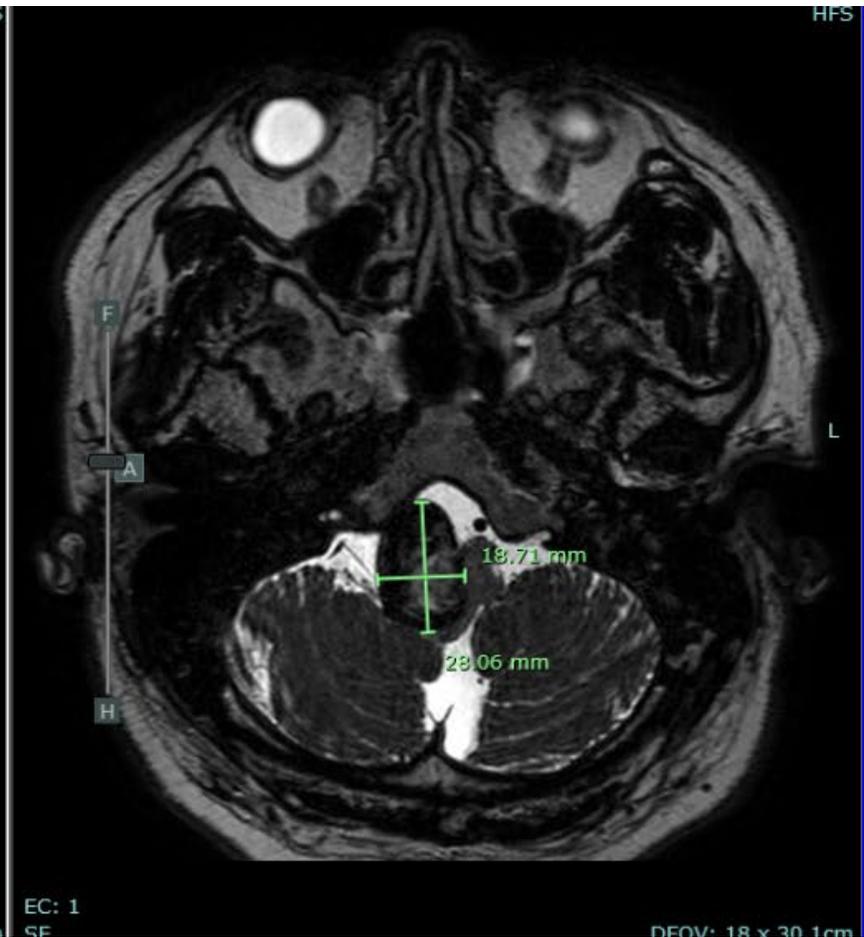
右VADAが経時的に増大



17.6*23.5mm
(X-2年)



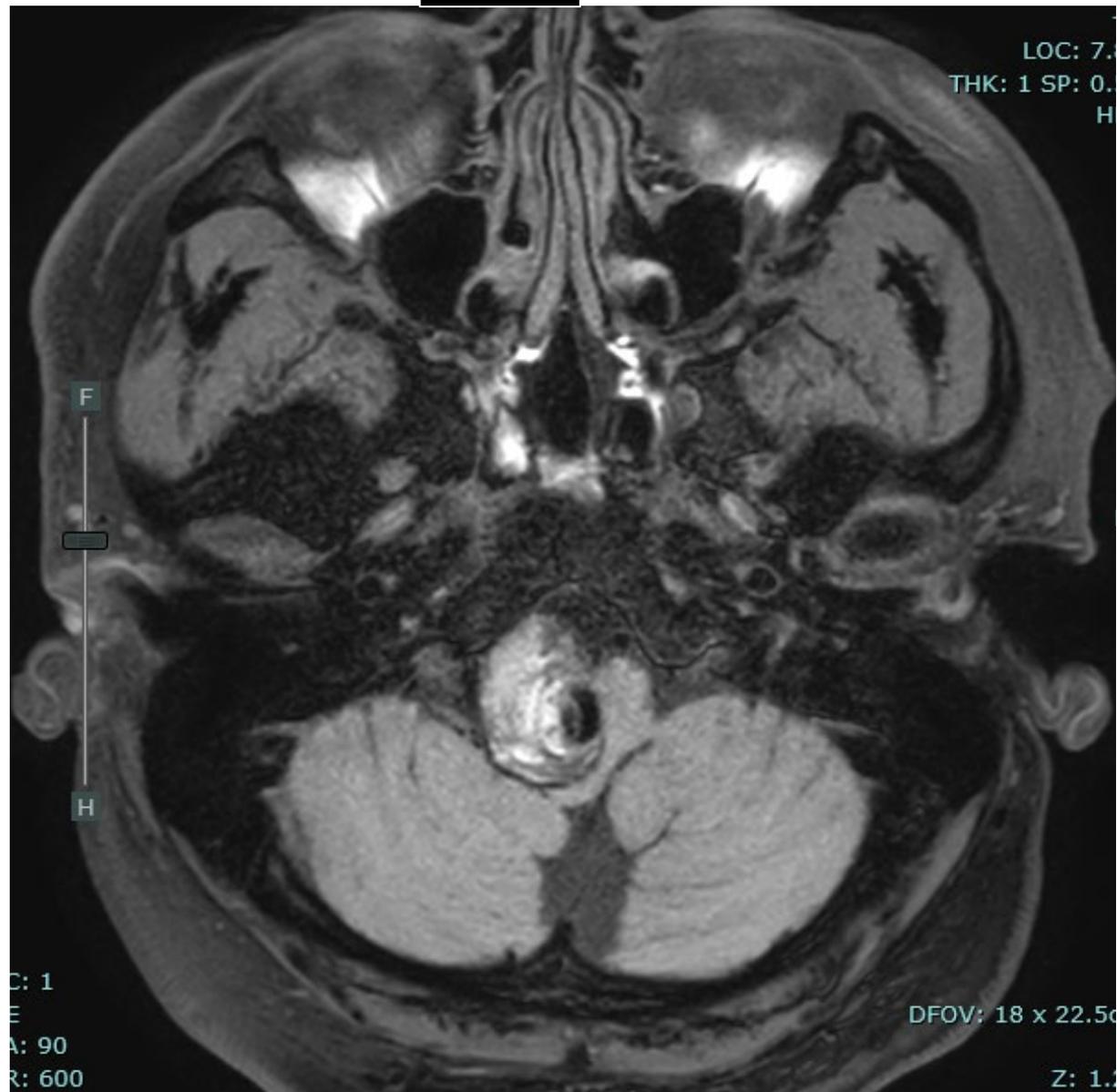
17.2*25.5mm
(X-1年)



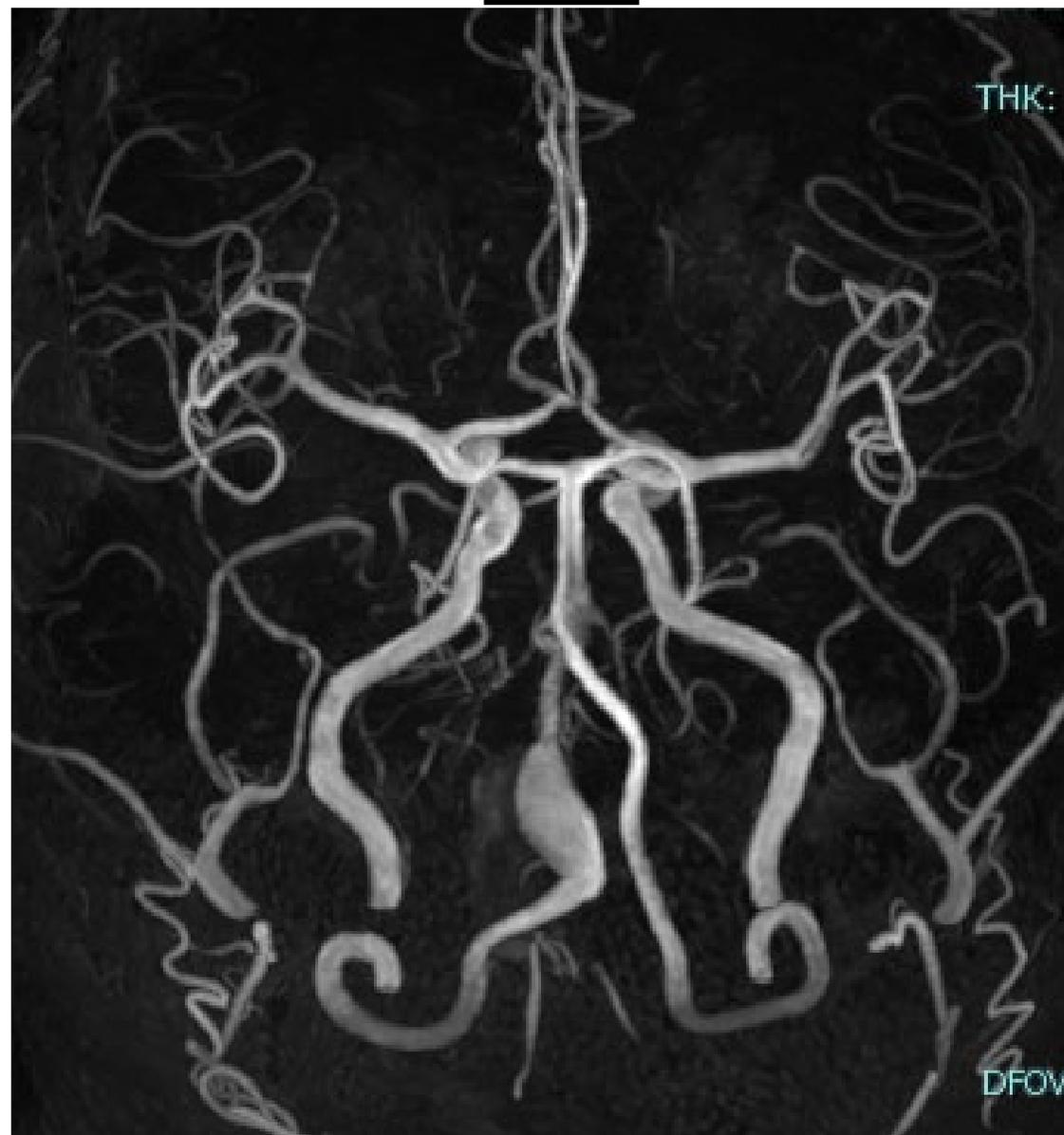
18.7*28.1mm
(X年)

X年(治療1ヶ月前)

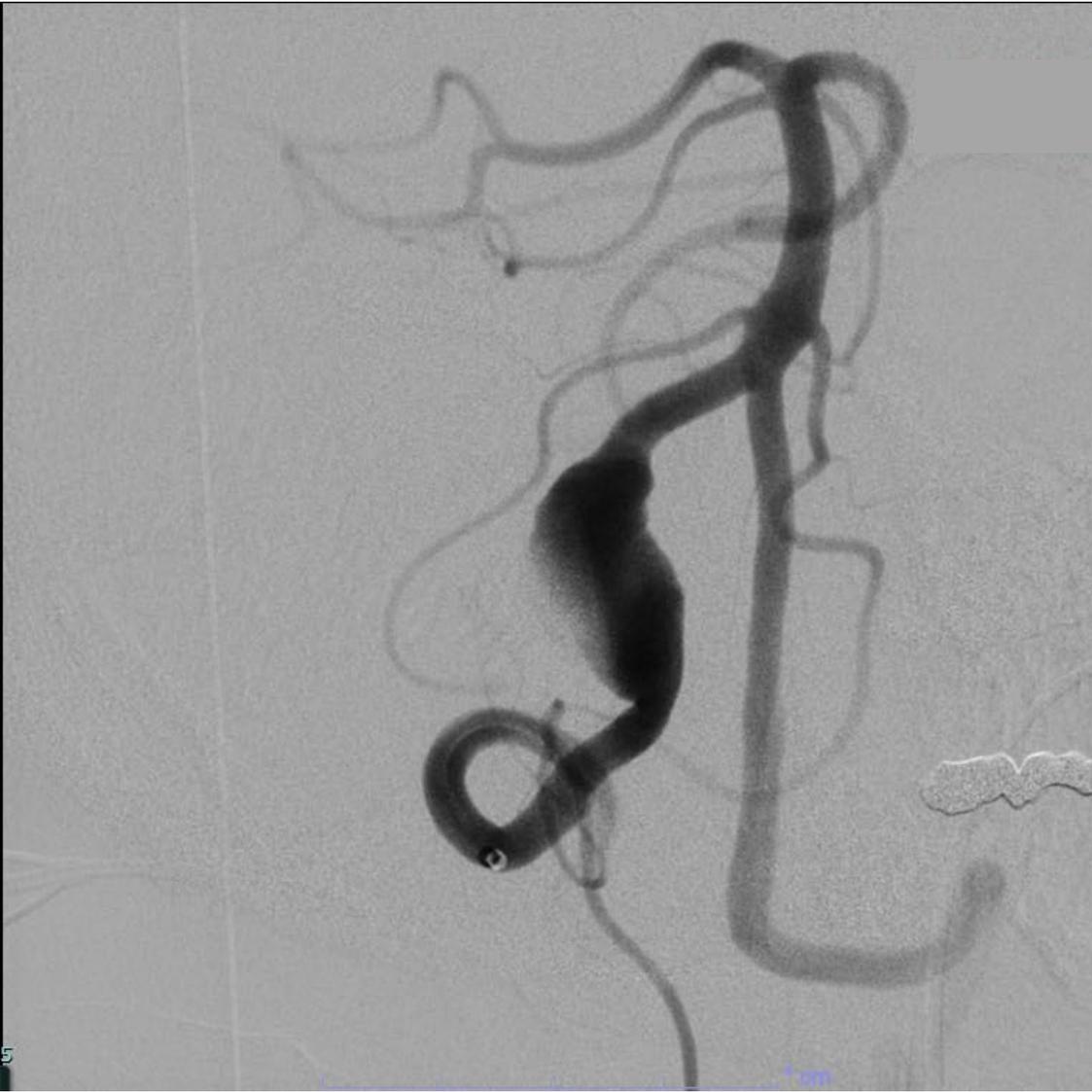
T1WI



MRA



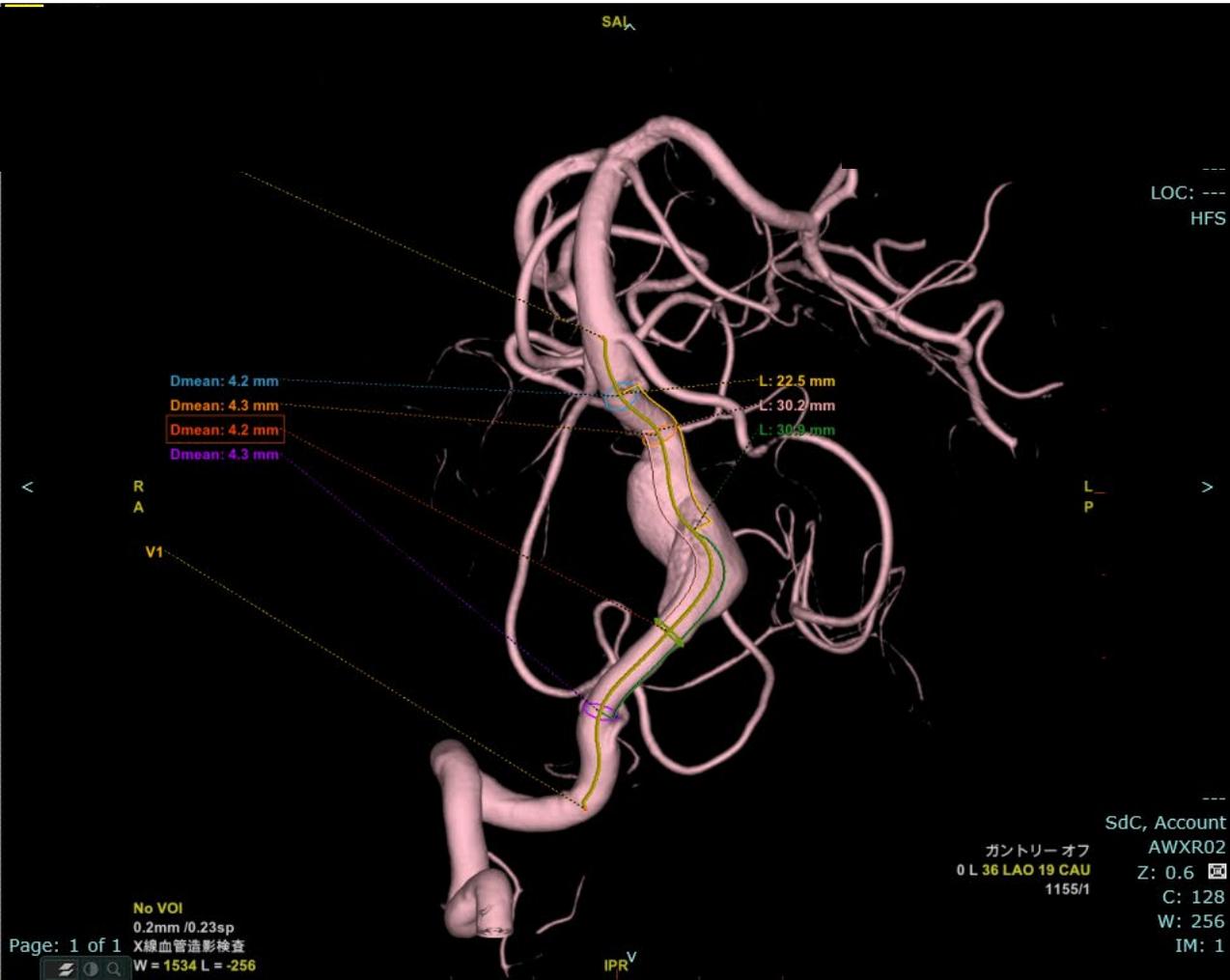
Working angles



3D-RA (Working angles)



3D-RA (Working angles)



Distal VA diameter 4.2mm, Proximal VA diameter 4.3mm
Lesion length 53.4mm

Case 1 summary

- ✓ 経時的に増大している右椎骨動脈部分血栓化巨大動脈瘤
- ✓ 無症候性
- ✓ 対側VAも解離の既往(現在は治癒していると考えられるが)

To be discussed...

- ✓ 治療を行うかどうか
- ✓ 血管内治療を行う場合
 - ① FD留置 ② FD + coil ③ internal trapping
 - ④ endovascular trapping (瘤内にはcoilを入れず両端だけcoil留置)
 - ⑤ その他
- ✓ 直達手術の場合